26.10.05

資料3

ヒアリング調査の実施概要・調査項目

1. ヒアリングの目的

茨木市の将来の農林業の担い手となるプレーヤーや、一緒に盛り上げたり、支え合う連携団体やキーパーソンへのヒアリングを実施する。

ビジョンで策定するプロジェクトの立案に向けて、国版認定農業者や新規就農者、みしま館や見山の郷、大阪府森林組合、農林業との連携・共創が考えられる事業者等から、取組状況、問題点、今後の展望、市施策への期待等のヒアリング調査を実施し、課題や各経営体の考え方等を把握する。

2. ヒアリング実施スケジュール

10 月中旬～12 月（5～8 件想定）

3. ヒアリングの対象（案）

（1）農業分野

農業者

・国版認定農業者
・新規就農者
・あぐりば卒塾生・受講生
- 農業分野で参入が期待される事業者
・集落営農組織
・de 愛・ほっこり「見山の郷」（農事組合法人見山の郷交流施設組合）

関連団体

・JA 茨木市（営農部門・販売部門（JA みしま館）など）
・大阪府北部農と緑の総合事務所

（2）林業分野

・大阪府森林組合
・里山サポートネット・茨木（森林環境ボランティア）
・山林所有者

（3）その他の分野

・ダムパークいばきた　指定管理者（大和リース株式会社）
・茨木商工会議所
・一般社団法人 茨木市観光協会

4. ヒアリング項目　※ヒアリング先に応じて質問項目を調整

（1）各経営体（団体）の現状と課題、今後の展望について

・事業の現状

・現在困っていること、これから問題になること

・将来展望（規模、経営内容　等）

（2）市の農政・里山保全等への期待

・期待する支援策、仕組み（府、市、JA、その他）

・同業者、異業種、企業、住民等との連携など

（3）茨木市全体の今後の農業・林業への意見、提案

5. その他

・市役所内の関係課へのヒアリング調査も並行して実施予定

・若手農業者の意見交換会等の実施を検討

■意見交換会の開催例

◯未来の茨木市の農林業についてユニークで魅力的なアイデアを提案できそうな方に集まっていただき、本計画で検討するプロジェクト提案などを行う。

◯参加者の例（概ね5者前後）

・都市農業の魅力を活かし、直売や地産地消、多品目栽培を頑張っている市内の生産者

・茨木市の農林振興に関するアイデアを持つ若手農業者、庁内職員、市内事業者　等